

『みんなで考える地域のバリアフリー「SeDaTuNaまちあるき」を開催したい!』のCFを応援しました。

令和5年度、徳島県内4つの高校から集まった有志12人の高校生で構成されたチーム(通称SeDaTuNa)が、「みんなで考える地域のバリアフリー」というテーマを掲げ、車いすユーザーやベビーカーユーザーさんも安心してすごせる社会を目指して活動しました。

私たちは、この事業趣旨に賛同するとともに、若い世代による挑戦を少しでもサポートしたいと思い、このたびクラウドファンディングに応援をしました。



1月28日(日)
「SeDaTuNaまちあるき」
当日の様子。

車いすユーザー、高校生、一般の方、総勢67名が参加しました。



「SeDaTuNaまちあるき」当日は、歩ける方も車いすを体験することで、まちのバリアフリーについて学びました。

施設入り口の段差やトイレの広さ、コンビニの商品棚の高さなど、車いすに乗ることで経験した気づきや学びをグループの皆さんと共有。

まちのバリアフリー調査後は、ふりかえりや座談会、グループ同士での情報交換も行われたそうです。

このような素晴らしい取組を応援できたことは、私たち「徳島青果株式会社」の誇りです！これからも若い世代を応援し続けます！！

○SeDaTuNa(せだつな)とは

徳島県教育委員会が主催する、若い世代が、多世代と連携協働して、地域づくりにつながる身近な課題に取り組み、その活動を通して地域で活躍できる人材を育成することを目的に「世代を超えて開かれつながる社会教育推進事業」を実施しています。今年3年目となりますが、令和4年度参加生徒たちが、たくさんの方々に親しみを込めて呼んでもらえるようにとの思いを込めて、SeDaTuNa(せだつな)の愛称を付けてくれました。